



特 許 願



昭和49年12月30日

特許庁長官 斎藤美雄 殿

1. 発明の名称

塗装用材料

2. 発明者

住所 特許出願人と同じ  
氏名

3. 特許出願人

住所 香川県仲多度郡高松市公文137  
氏名 藤田 勉  
代表者

4. 代理人

住所 (〒760) 高松市丸の内10番20 兵庫相互ビル  
氏名 (7573) 赤堀士 大 浜 博  
電話 (0878) 22-2652

5. 添附書類の目録

- |           |     |
|-----------|-----|
| (1) 明細書   | 1 通 |
| (2) 図面    | 1 通 |
| (3) 願書副本  | 1 通 |
| (4) 委任状   | 1 通 |
| (5) 審査請求書 | 1 通 |



明 細 書

1. 発明の名称

塗装用材料

2. 特許請求の範囲

ニコチン成分を含有せしめたことを特徴とする  
シンナーまたはペイント等の塗装用材料。

3. 発明の詳細な説明

この発明は水中に浸漬する部分を有する橋脚や  
船舶等の水中造作物を腐蝕から保護するとともに  
フジツボ等の貝類やコケ等の海藻類の付着を防止  
するための成分を含有したシンナーやペイント等  
の塗装用材料に関する。

水中に浸漬する部分を有する造作物、たとえば  
水中の船舶の底部付近には腐蝕防止のほかにはフジ  
ツボ等の貝類またはコケ等の海藻類の付着を防止  
することを目的とした塗料を塗装しているが、貝  
類および海藻類（以下貝類等という）の付着発生  
防止用の塗料としては従来から鉛成分やゴム成分  
等を混合した塗料が知られている。

① 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 51-63835

③公開日 昭51.(1976) 6. 2

②特願昭 49-128642

②出願日 昭49.(1974) 11. 30

審査請求 有 (全2頁)

庁内整理番号

7446 48  
6416 49

②日本分類

240C2  
30 FPJ

⑤ Int.Cl<sup>2</sup>

COPD H144  
A01N 23/00

しかしながらこの種の公知の塗料ではその効能  
持続期間が短かくたとえ船舶では6ヶ月程度を  
周期として塗料の塗り替え作業をした場合にはか  
なりの量の貝類等の付着を発見する。船舶等の塗  
り替え作業に際しては貝類等の付着があればその  
付着している貝類等を取り除かなければならず多  
大の労力を必要とするものである。

そこで本発明者は水中で発生する貝類等の付着  
防止用の塗料に関する研究を重ねた結果毒性の強  
いニコチン成分をシンナーやペイント等の塗装用  
材料に含有せしめれば船舶等に対する貝類等の付  
着防止に効果があることを発見した。

本発明は船舶や橋脚等の水中造作物に対して貝  
類等が付着するのを長期間防止することのできる  
シンナーやペイント等の塗装用材料を提供するこ  
とを目的とするものである。

以下本発明の塗装用材料に関する一実施例とし  
てシンナーにニコチン成分を含有せしめる場合の  
製造方法について説明すると、シンナー液100  
重量部の液の中にニコチン成分抽出の材料である\*

タバコの葉／重層部以上（シンナー液中のニコチン成分濃度が高いほど貝類等付着防止の効果が大きい）と少量のゴム成分を添加し、5日ないし30日経過した後、該タバコの葉を前記シンナー液中から除外する。上述のニコチン成分とゴム成分の溶解したシンナー液中には必要に応じて鉛の微粉末を適量添加して混合することができる。このようにして製造されたニコチン成分含有シンナーによって適宜のペイントを希釈し、橋脚や船舶等の水中造作物に塗布すると長期間貝類等の付着を防止することができるものである。

なお、上述の実施例ではシンナー中にニコチン成分を含有せしめているが、本発明は各種ペイント中にニコチン成分を含有せしめて実施することもできる。

また、本発明の塗装用材料中に溶解するニコチン成分はその濃度が高ければ高いほど貝類等の付着防止効果が大きい。

さらに前述の製造方法においてはシンナー中にニコチン成分を溶解させるための材料としてタバ

コの葉を使用した。これに代えてニコチン成分を有する適宜の液状材料を使用することもできる。

次に本発明の塗装用材料の効果について説明すると、第1に本発明の塗装用材料にはニコチン成分が溶解しているため、そのニコチン成分の毒性により船舶その他の水中造作物に貝類等が付着するのを防止できる。効能持続期間を公知の塗料のそれよりも大幅に延長することができる効果がある。

したがって本発明の塗装用材料を使用した塗料を船底等に塗装すればきわめて長期間貝類等の付着を防止することができ、また貝類等が付着した場合でもその量が少ないために容易に貝類等を除却することができるので、船舶等の塗り替えに要する経費を節減することができるものである。

また、公知の船舶等に対する貝類等の発生防止用の塗料は木船用または鉄船用など用途に応じて個別に製造されているが、本発明に基づいて予じめシンナー液にニコチン成分を含有せしめて保存しておき、必要に応じて用途別に前記ニコチン含有シンナー液を用いて適宜のペイント剤を希釈

すれば所望の成分、色および濃度の塗料を調合することができ、各々の用途に応用することができる。

出 発 人 鎌 田 勉  
代 理 人 弁 理 士 大 浜 博



First Hit      Previous Doc      Next Doc      Go to Doc#  
End of Result Set

☐ [Generate Collection](#) [Print](#)

L14: Entry 9 of 9

File: DWPI

Jun 2, 1976

DERWENT-ACC-NO: 1976-55047X  
DERWENT-WEEK: 200300  
COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Anti-fouling coating compsn - contains nicotine component to increase duration of activity

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

KAMATA T

KAMAI

PRIORITY-DATA: 1974JP-0138642 (November 30, 1974)

[Search Selected](#) [Search ALL](#) [Clear](#)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<input type="checkbox"/> <u>JP 51063835 A</u>	June 2, 1976		000	

INT-CL (IPC): A01N 23/00; C09D 5/14

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 51063835A

BASIC-ABSTRACT:

Coating matls. e.g. thinner, paint, etc. for protecting underwater structures e.g. pier or ship, having parts immersed in water, from corrosion and preventing the deposition of shellfish e.g. barnacle or seaweeds e.g. moss, has a nicotine component added to increase the activity lasting time. Even when shellfish, etc. adhere, the amount is small and the cost of re-painting is saved. Also when nicotine component is added to thinner, stored, and used suitably for dilution of paint when necessary, paints of desired compsn. colour, and concn. can be prepared.

TITLE-TERMS: ANTI FOUL COATING COMPOSITION CONTAIN NICOTINE COMPONENT INCREASE DURATION ACTIVE

DERWENT-CLASS: C02 G02

CPI-CODES: C07-D03; C07-D04; C12-A02; C12-N01; C12-N04; C12-N05; G02-A02; G02-A03;

CHEMICAL-CODES:

Chemical Indexing M2 \*01\*

Fragmentation Code

H1 H2 M126 M116 M210 M211 M231 M270 M281 M311  
M320 F423 F431 H181 H201 P340 P300 P343 P344 P002